

案内

第39回日本看護科学学会 学術集会

日程：11月30日(土)～12月1日(日)
会場：石川県立音楽堂、ANA クラウン
プラザホテル金沢、ホテル金沢、もてなし
ドーム地下広場(すべて石川県金沢市)
テーマ：ヒトと人間(ひと)の科学を看護
へ——時空を超える我々を知り、看護学
を別次元へ発展させよう

プログラム：[1日目]会長講演「ヒトと
人間(ひと)の科学を看護へ」石垣和子(石
川県立看護大学)／特別講演「知られざる
ヒトの適応機構の解明——フィールド
ワークからの挑戦」梅崎昌裕(東京大学大
学院)／合同シンポジウムⅠ(日本生理人
類学会)「適応と健康：現代社会における
人間の健康とは？」安河内朗(日本生理人
類学会)、樋口重和(九州大学大学院／日
本生理人類学会)、石垣和子(石川県立看
護大学)／教育講演Ⅰ「看護研究と実践・
教育の環境づくり」Ardith Doorenbos
(ワシントン大学)、真田弘美(東京大学
大学院)／合同シンポジウムⅡ(文化看護
学会)「時空を超える家族文化と看護」牟
田和恵(大阪大学大学院)、法橋尚宏(神
戸大学大学院／文化看護学会)、岩本大
希(WyL株式会社／ウィル訪問看護ス
テーション江戸川)、特別講義：三部倫
子(石川県立看護大学)／特別報告会「特
定行為研修制度の現状」習田由美子(厚生
労働省)／シンポジウム「環境の変化が人
類の代謝機能に及ぼす影響と今後の食の
あり方」奥村仙示(徳島大学大学院)、茅
山加奈江(石川県国保団体連合会)、櫻井
千佳(フーリランス栄養士、元ちゃんハ
ウス理事)

[2日目]パネルディスカッションⅠ「時
空を超える高度看護実践能力」田村恵子
(京都大学大学院)、春山早苗(自治医科
大学)、島田珠美(川崎大師訪問看護ス
テーション)、指定発言：藤沼康樹(日本
医療生協連合会家庭医療学開発センター
／生協浮間診療所)／対談「人間を理解す
ることの限界と挑戦——現象学的視点か
らの他者理解を考える」平田オリザ(劇作
家／大阪大学 CO デザインセンター)、
西村ユミ(首都大学東京)／教育講演Ⅱ
「がんゲノム新時代における看護の役割」
村上好恵(東邦大学)／パネルディスカ
ッションⅡ「ニューロサイエンスの現在・

未来——ヒトと人間(ひと)の科学の看護
における融合」大久保暢子(聖路加国際大
学大学院)、才藤栄一(藤田医科大学)、
鎌倉やよい(日本赤十字豊田看護大学)
参加費：会員1万2000円、非会員1万
4000円、学生3000円、懇親会7000円
問い合わせ先：運営事務局
〒920-0059 石川県金沢市示野町南45
番地 株式会社ネクステージ内
TEL:076-216-7000
FAX:076-216-7100
E-mail:jans39@nex-tage.com
http://www.jans2019.jp/

案内

第31回日本生命倫理学会 年次大会

日程：12月7日(土)～8日(日)
会場：東北大学川内南キャンパス文科系
総合講義棟・中講義棟(宮城県仙台市)
テーマ：医療の姿と常識の再検討
プログラム：大会企画シンポジウムⅠ
「我々は健康でなければならないのか」中
山健夫(京都大学)、名郷直樹(武蔵国分
寺公園クリニック)、土屋貴志(大阪市立
大学)、郷内淳子(患者会カトレアの森)
／大会企画シンポジウムⅡ「自己決定を
問い直す」圓増文(東北大学)、吉田雅幸
(東京医科歯科大学)、高野忠夫(東北大
学病院)、平井啓(大阪大学)／学会企画
シンポジウム「エンドオブライフ・ケア
と人生の最終段階ガイドライン」清水哲
郎(岩手保健医療大学)、川島孝一郎(仙
台往診クリニック)、指定発言：樋口直
美(レビー小体症当事者)、橋本みさお
(ALS当事者)／国際交流企画シンポジ
ウム「臨床試験参加者／患者の自律、意
思決定、同意」Brandon Brown(カルフォ
ルニア大学)、Haruka Nakada(国立がん
研究センター)、Evie Kendal(ディー
キン大学)、Waki Toya(国立がん研究セ
ンター)／ほか
参加費：会員8000円、非会員9000円、
学生2000円

問い合わせ先：大会事務局
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵
町2-1 医学部5号館10階 東北大学
大学院医学系研究科 医療倫理学分野内
TEL:022-717-8197(直通)
FAX:022-717-8198
E-mail:sendai31bioethics@gmail.com

<https://sendai31.ja-bioethics.jp/index.html>

募集

2020年度 木村看護教育振興財団 看護研修等助成募集

■海外看護研修助成

研修先：メイヨークリニック(Mayo
Clinic, 米国ミネソタ州ロチェスター)
応募資格：次のいずれにも該当する者
1)日本在住で看護師・助産師・保健師の
いずれかの資格をもっていること
2)看護実務経験が5年以上あり、現在、
臨床の現場に従事していること
3)心身ともに健康であること
4)関係所属長の推薦があること
5)TOEIC 600点以上、TOEFLの所定
の点数(CBT 173点以上またはIBT 61
点以上)またはIELTS 5.0点以上をもっ
ていること

※研修には通訳は付かないので、日常会
話と看護の専門分野の英語力が必要

募集人員：10名

研修方法：研修者の目的に応じた個別ブ
ログラムに沿った講義、実習および見学
による研修

研修時期・期間：2020年9月中旬から
渡航日数を含めて約3週間

助成範囲：研修費、宿泊費、羽田空港発
着の往復渡航費

応募方法：下記ホームページより、「2020
年度海外看護研修助成申込書」をダウ
ンロードし、必要事項を記入の上、本財団
に郵送。応募資格5)に記載している英
語力を示すスコア証明書の写しを同封す
ること

※選考の結果を通知するため、申込者の
住所、氏名を記入した返信用封筒(84円
切手貼付)を同封のこと

申込締切日：2020年1月23日(木)必着
選考結果：3月下旬に通知

■看護研究助成

助成対象：看護の質的發展・充実が期待
できる先駆的研究で、療養環境に関わる
研究など、臨床の役に立つ未発表のも
の。共同研究歓迎

2020年度助成する研究の分野：基礎看
護、成人看護、老年看護、小児看護、母
性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、

看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件：

1) 日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループ

※上記の要件を満たしていない場合は受け付けない(名前だけの看護職者の共同研究者は認めない)

※教員・大学院生をのみの申し込みは対象とならない

2) 倫理的に許される研究であること

3) 関係所属長の許可・推薦があること

4) 研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額：1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告：

1) 助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人員費は対象から除外(ホームページの別紙「研究助成費目一覧」参照)

※助成金は年度を超えて支出してもかまわない

2) 助成金の使途については、正規の報告書とともに報告してもらう。なお、必要に応じて領収書等を添えて詳細な報告をしてもらうことがある

応募方法：下記ホームページの「2020年度看護研究助成申込書」に必要事項を記入の上、本財団へ郵送

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒(84円切手貼付)を同封のこと

申込締切日：2020年1月23日(木)必着
選考結果：3月下旬に通知

助成金の贈呈：6月中旬予定

※助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告：研究成果および助成金の使途状況について、2021年9月30日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2022年7月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団—2020年度看護研究助成事業—『看護研究集録29号』」に掲載。本研究の成果を関係学会等へ発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究であることを明記のこと。また、研究報告書の学会誌等への投稿は、当財団の看護研究集録28号に掲載し発行された後で行なうこと

■専門看護師(CNS)奨学金

募集分野：2019年9月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の13専門看護分野について募集

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護

支給対象者：看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の1)、2)を満たしている者

1) 大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

2) 臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額：年額60万円

支給期間：1年間(4月から翌年3月まで)

支給条件：看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で2021年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める

奨学金申請手続きに必要な書類：

- 1) 本人記載の申請書
- 2) 専門看護師としての将来展望、抱負
- 3) 1年次前期の成績証明書
- 4) 指導教員の推薦書
- 5) 3年以上の実務経験(すべて)を証明する書類

※2)の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4版で記載すること

※3)、4)についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

※5)については下記ホームページより必要用紙等をダウンロードして使用のこと

※要綱、応募用紙は下記ホームページ申請書申込フォームよりダウンロードして使用のこと

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒(84円切手貼付)を同封のこと

奨学金受給者の事後報告義務等：証明に関することは、その都度速やかに提出すること

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

④氏名や住所等の変更

申込締切日：2020年1月23日(木)必着
選考結果：3月下旬に通知

【共通】

問い合わせおよび申込書送付先：公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目25番14号8階

TEL:03-5800-2700

FAX:03-5800-0022

E-mail:kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/